

日本小児科学会医療安全委員会主催

第12回 Sedation Essence in Children Under Restricted Environment (SECURE) オンラインコースの報告

開催日：2021年6月12日（土）13:00～16:30

開催方法：オンライン（ZOOM）

参加費：11,000円（1施設あたり）

参加者数：15名（5施設）+オブザーバー

目的：「MRI検査時の鎮静に関する共同提言」を理解し、安全な環境整備に関わる人材の育成

参加者：医師5名、看護師5名、放射線技師5名+オブザーバー

参加施設：海老名総合病院、荏原病院、横浜労災病院、横浜医療センター、東京女子医科大学病院

プログラム内容：

第1部（30分）：座学（共同提言の解説とオリエンテーション）

第2部（55分）：シミュレーション実習（実践型訓練と振り返り、他施設との比較検討）

第3部（65分）：アクションプランを立てよう（各施設の問題点と課題解決に関する協議）

第4部（30分）：発表・質疑応答（アクションプランの発表、全体で意見交換）

コースの実際：第1部は座学形式で共同提言の要点を伝えた。第2部は各施設5グループに分かれて、シミュレーション/ディスカッション形式で行った。同一施設の医師、看護師、放射線技師が3人1組でシナリオシミュレーションを行い、振り返りの場で、自施設の課題や解決策を多職種/多施設で協議する場を提供した。第3部は、自施設の改善したい課題を1-2つ挙げて具体的な解決策の立案を目指すワークショップ形式で行った。ファシリテーターは実現性が高くなるように助言や討論の場を提供した。第4部は、2グループに分かれて行い、各施設のアクションプランを中心に発表し、グループ全員で討議を行った。

アンケート結果：「コース全体の満足度は？」4.80（6点満点）、「安全な環境整備に対する意欲が向上したか？」5.10（同）、「多職種での参加は良かったか？」5.60（同）であった。参加者の声として、多職種/多施設で行う意見交換の場が非常に好評で、他部署での問題点など様々な気づきがあったと多数回答があった。オンラインコースとして今回開催したが、コースの内容に対する満足度に大きな変化はみられなかった。一方で、事前準備や当日の進行などコース運営として改善すべき点の指摘が得られた。コース3か月後に事後アンケートを行い、アクションプランの進捗評価を実施する予定である。

コース運営と今後の取り組み：新型コロナウイルス感染症の流行状況を考慮しつつ、年間数回の開催を予定している。① SECURE コースが開始された当初の目的である、各医療施設が医療安全に関する意識を持つことは、多くの施設で達成されていると考えられる。参加施設の満足度向上や、施設の質改善により寄与できるように、コースの内容を医療安全委員会で協議する。②オンラインのセミナー開催において、注意すべき点が明らかになった。今後の開催のために改善を予定している。③ SECURE コースの様子やアクションプランの実例を、学会ホームページ内の医療安全委員会のコーナーから閲覧可能となっている。